

Filr 3.4

Desktopアプリケーションガイドfor Windows

2018年6月

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPSコンプライアンスの詳細については、<https://www.microfocus.com/about/legal/>を参照してください。

Copyright © 2018 Micro Focus or one of its affiliates.

このガイドについて	5
1 概要	7
2 Filr Desktopアプリケーションのインストールと設定	9
サポートマトリックス	9
サポートされている言語	9
Filr Desktopアプリケーションのダウンロードおよびインストール	10
Filr Desktopアプリケーションへのログイン	10
初めてログインする	10
デスクトップを構成した後のログイン	11
別のユーザとしてのログイン	11
Filr Desktopコンソールの構成	11
Filr Desktopアプリケーションのアップグレード	12
3 Filr Desktopアプリケーションのアンインストール	13
4 Filr Desktopアプリケーションの操作の理解	15
同期の理解	15
同期が実行されるタイミング	15
同期されるフォルダ	15
サポートされているアクション	16
ファイルおよびフォルダを手動で同期する	17
保留中の同期変更の表示	17
Filr Desktopアプリケーションでの作業	17
Filr Desktopコンソールの理解	18
アカウント	18
全般	18
ストレージ	18
Application (アプリケーション)	18
保留中の変更	18
最近のアクティビティ	19
システムアラート	19
Filr操作の理解	19
Filr操作の要約表	19
オフラインで使用できるようにする	20
オンラインでのみ使用できるようにする	20
キャッシュファイルを削除する	20
今すぐ同期	21
ローカル変更を取り消す	21
コンピュータからFilrファイルを表示する	21
オフラインのファイルおよびフォルダを手動で同期する	21
Filr Desktopからブラウザ内でFilrを起動する	22
ファイルへのコメントの追加およびコメントの表示	22
ファイルまたはフォルダの共有	22
ファイルへのリンクの配布	25
ファイルまたはフォルダのFilrプロパティの表示	26
Filr Desktopコンソールでの作業	26
Filrアカウント情報の変更	27
データクォータの理解および表示	27
ファイルシステム上のFilrファイル同期場所の変更	28
キャッシュファイルの削除	28
アプリケーションドリブンダウンロードによってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐ	29
同期問題の理解と解決	30
最近のアクティビティの表示	31

システムアラートの表示	31
デスクトップアプリケーションのブランディングのカスタマイズ	31
バルーン通知は表示されないことがある	32

5 トラブルシューティング 33

同期していないファイル	33
ログファイル	33
アップグレードに関する問題	33
デスクトップアプリケーションをアップグレードした後、Windowsのデスクトップアプリケーションに古いバージョンのアイコンが表示される	34
デスクトップアプリケーションをアップグレードするときにWindowsのデスクトップがハングすることがある	34
一般的な問題	34
エクスプローラで大きいサイズのファイルを移動するとエラーが表示される	34

このガイドについて

このガイドでは、Filtr Desktopのユーザ向けに、次のトピックについて説明します。

- ◆ 7ページの第1章「概要」
- ◆ 9ページの第2章「Filtr Desktopアプリケーションのインストールと設定」
- ◆ 13ページの第3章「Filtr Desktopアプリケーションのアンインストール」
- ◆ 15ページの第4章「Filtr Desktopアプリケーションの操作の理解」
- ◆ 33ページの第5章「トラブルシューティング」

対象読者

このガイドは、Filtr Desktopのユーザ向けです。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にある、[commentonthistopic](#)リンクを使用してください。

マニュアルの更新

「*Micro Focus Filr Administrative User Interface Reference*(Micro Focus Filr管理者用ユーザインタフェースリファレンス)」やその他のマニュアルの最新版は、[Filtr 3マニュアルのWebサイト](#) (<http://www.novell.com/documentation/filr-3>)を参照してください。

その他のマニュアル

Filtrのマニュアルにはさらに詳しい情報が載せられています。このマニュアルは、[Filtr 3マニュアルのWebサイト](#) (<http://www.novell.com/documentation/filr-3>)から入手できます。

1 概要

Micro Focus Filrを使うと、デスクトップ、ブラウザ、またはモバイルデバイスからすべてのファイルとフォルダに簡単にアクセスできます。また、ファイルとフォルダを他のユーザと共有することで、自分のファイルでコラボレーションを促進できます。Micro Focus Filrの概要について詳しくは、『[Filr 3.4: ユーザアクセスガイド](#)』の「[Filrについて](#)」を参照してください。

デスクトップからだけではなく、次の方法でもFilrにアクセスできます。

- ◆ ワークステーションのWebブラウザからは、『[Filr 3.4: ユーザアクセスガイド](#)』に説明されている方法でアクセスします。
- ◆ モバイルデバイスからは、『[Micro Focus Filr Mobileアプリクイックスタート](#)』に説明されている方法でアクセスします。

Micro Focus Filrのファイルを自分のコンピュータと同期すれば、Filrサイトにアクセスすることなく、ファイルを直接変更することができます。追加、変更、および他のアクションが、Filrと自分のコンピュータとの間で同期されます。

この方法を実施するには、Filr管理者がFilr Desktopアプリケーションを有効にして、Filrサイトと共に使用できるようにしておく必要があります。詳しくは、『[Filr 3.4: Administrative UI Reference \(Filr 3.4: 管理者用UIリファレンス\)](#)』の「[Desktop Access—Default Settings \(デスクトップアクセス—デフォルトの設定\)](#)」を参照してください。

2 Filr Desktopアプリケーションのインストールと設定

このセクションでは、Filr Desktopアプリケーションのインストールおよび構成についてシステム要件と手順を説明します。

- ◆ 9 ページの「サポートマトリックス」
- ◆ 9 ページの「サポートされている言語」
- ◆ 10 ページの「Filr Desktopアプリケーションのダウンロードおよびインストール」
- ◆ 10 ページの「Filr Desktopアプリケーションへのログイン」
- ◆ 11 ページの「Filr Desktopコンソールの構成」
- ◆ 12 ページの「Filr Desktopアプリケーションのアップグレード」

サポートマトリックス

次の表は、Filr Desktopアプリケーションをインストールするための前提条件の一覧です。

Windowsプラットフォーム	◆ Windows 10、8.1、7
Filrサーバ	◆ Filr 3.4

サポートされていないプラットフォーム

サポートされている言語

Filr Desktopアプリケーションで表示されるデフォルトの言語は、アプリケーションが実行されているワークステーションで設定されている言語によって定義されます。

Filr Desktopアプリケーションは、以下の言語をサポートしています。

-
- | | |
|-----------|----------------|
| ◆ チェコ語 | ◆ ハンガリー語 |
| ◆ 簡体字中国語 | ◆ イタリア語 |
| ◆ 繁体字中国語 | ◆ 日本語 |
| ◆ デンマーク語 | ◆ ポーランド語 |
| ◆ オランダ語 | ◆ ポルトガル語(ブラジル) |
| ◆ 英語 | ◆ ロシア語 |
| ◆ フィンランド語 | ◆ スペイン語 |
| ◆ フランス語 | ◆ スウェーデン語 |
| ◆ ドイツ語 | |
-

Filr Desktopアプリケーションのダウンロードおよびインストール

- 1 ワークステーションで、ブラウザからFilr Webアプリケーションにアクセスします。
ブラウザからMicro Focus Filrを開始する方法については、『[Filr 3.4: ユーザアクセスガイド](#)』の「[WebブラウザからFilrへアクセス](#)」を参照してください。
- 2 ページの右上隅にある、リンクになっている自分の名前をクリックして、[[Filr Desktopアプリのダウンロード](#)] をクリックします。
- 3 [[Windowsx86クライアント](#)] リンクまたは [[Windowsx64クライアント](#)] リンクのいずれかをクリックして、ご使用のオペレーティングシステムに適したアプリケーションをダウンロードしてください。
- 4 ダウンロードが完了したら、ご使用のオペレーティングシステムが32ビットか64ビットかに応じて、MicroFocusFilrSetup-x86-3.x.exeファイルまたはMicroFocusFilrSetup-x64-3.x.exeファイルを開きます。
- 5 (設定による) Microsoft .NET Framework 4.5以降がまだワークステーションにインストールされていない場合は、ライセンス契約に同意してインストールするプロンプトが表示されます。Microsoft .NET Frameworkをインストールする場合、コンピュータを再起動する必要があります。
- 6 [次へ](#)をクリックします。
- 7 ライセンス契約を受諾して、[[次へ](#)] をクリックします。
- 8 Filr Desktopアプリケーションのインストール場所を変更するか、またはデフォルトの場所を受け入れて [[次へ](#)] をクリックします。
- 9 [[インストール](#)] をクリックします。
- 10 インストールが完了したら、[[完了](#)] をクリックして、[10 ページの「初めてログインする」](#)に進みます。

Filr Desktopアプリケーションへのログイン

初めてFilrにログインするか、デスクトップを構成した後にログインするか、別のユーザとしてログインするかに応じて、次のセクションをご覧ください。

- ◆ [10 ページの「初めてログインする」](#)
- ◆ [11 ページの「デスクトップを構成した後のログイン」](#)
- ◆ [11 ページの「別のユーザとしてのログイン」](#)

初めてログインする

Filr Desktopアプリケーションをダウンロードしてインストールすると、アプリケーションにログインするプロンプトが表示されます。Filr Desktopアプリケーションのダウンロードおよびインストールの詳細については、[10 ページの「Filr Desktopアプリケーションのダウンロードおよびインストール」](#)を参照してください。

Filr Desktopアプリケーションにログインする:

- 1 Micro Focus Filrのログインダイアログで、次の情報を指定します。

ユーザ名: Filrサイトにログインするときに使用するFilrユーザ名を指定します。

パスワード: Filrサイトにログインするときに使用するFilrパスワードを指定します。

パスワードを記憶する: Filr Desktopアプリケーションにパスワードを記憶させる場合は、このオプションを選択します。

注: Filr管理者はこのオプションを無効にすることができます。

サーバURL: ファイルをコンピュータに同期するFilrサイトのURLを指定します。例: `https://Filr.mycompany.com:8443`

2 ログインをクリックします。

これでFilr Desktopアプリケーションが実行され、Filrアイコン  が通知エリアに表示されます。

デスクトップを構成した後のログイン

初回ログインの後にFilrアプリケーションにログインするときは、通知エリアの [Filr] アイコン  を右クリックして、[ログイン] をクリックします。

別のユーザとしてのログイン

別のユーザとしてログインする方法については、[27 ページの「Filrアカウント情報の変更」](#) を参照してください。

Filr Desktopコンソールの構成

Filr Desktopコンソールを使用すると、ログインの詳細や、ファイルストレージの場所、コンピュータの起動時に自動的にFilrを起動するかどうかなどの情報を設定できます。コンソールには、保留中の同期変更、最近のFilrアクティビティ、システムアラートなどに関する情報を表示することもできます。

1 Filr Desktopアプリケーションにログインします。

Desktopアプリケーションへのログインについては、[10 ページの「Filr Desktopアプリケーションへのログイン」](#) を参照してください。

2 通知エリアのFilrアイコン を右クリックして、[Filrコンソールを開く] をクリックします。

3 Filr Desktopコンソールでは、次の事項を構成できます。

- ◆ **ログインの詳細の編集:** [アカウント] タブには、前回のログイン時に指定されたログイン情報が表示されます。必要に応じて、ログイン情報を編集できます。詳細については、[10 ページの「Filr Desktopアプリケーションへのログイン」](#) を参照してください。
- ◆ **Filrの一般的な詳細情報の編集:** [一般] タブでは、コンピュータの起動時にFilrを自動的に起動するかどうかを指定できます。
- ◆ **ストレージの場所の編集:** [ストレージ] タブでは、Filrファイルを同期する場所を指定します。デフォルトでは、Filrファイルはユーザのファイルシステムの `c:\Users\username\Filr` フォルダに同期されます。

コンソールには、次の情報を表示することもできます。

- ◆ **保留中の同期変更:** [保留中の変更] タブでは、進行中の同期変更を表示することができます。
- ◆ **最近のアクティビティ:** [最近のアクティビティ] タブでは、最近実行されたアクティビティを表示することができます。
- ◆ **システムアラート:** [システムアラート] タブでは、デスクトップアプリケーションが生成するアラートを表示することができます。

Filr Desktopアプリケーションのアップグレード

Filr 3.3 Desktopソフトウェアを使うと、最新のパッチをインストールしたFilr 3.0 Desktopアプリケーションの既存のインストールをアップグレードできます。

重要: デスクトップアプリケーションをアップグレードするには、その前に次のようにしてFilrクライアントを終了する必要があります。

1. <Shift>を押しながら、WindowsのシステムトレイにあるFilrアイコンを右クリックします。
2. [終了] をクリックします。

前のバージョンを実行中にFilr Desktopアプリケーションをアップグレードすると、オーバーレイアイコンが表示されないことがあります。この問題について詳しくは、[Filr 3マニュアルのWebサイト](#)にある『*Filr Desktopアプリケーションリリースノート*』を参照してください。

3 Filr Desktopアプリケーションのアンインストール

Filr Desktopアプリケーションをアンインストールする前に、開いているFilrファイルおよびアプリケーションをすべて閉じます。

Filr Desktopアプリケーションをアンインストールすると、以下の処理が行われます。

- ◆ すべてのFilrアプリケーションファイルと構成データが削除されます。
- ◆ アンインストール処理の一部として、以前にダウンロードおよび同期されたファイルとフォルダは次のフォルダに移動します:

C:\Users\UserName\Filr (archived)(number)

番号の数值は、1から始まり、Filrのアンインストールが行われるたびに1増えていきます。

不要になったフォルダは削除できますが、そのファイルとフォルダはFilrサーバに引き続き残ります。

Filr Desktopアプリケーションをアンインストールするには、以下の手順を行います。

- 1 Windowsの [コントロール パネル] を使用して、Filr Desktopアプリケーションをアンインストールします。

4 Filr Desktopアプリケーションの操作の理解

- ◆ 15 ページの「同期の理解」
- ◆ 17 ページの「Filr Desktopアプリケーションでの作業」
- ◆ 18 ページの「Filr Desktopコンソールの理解」
- ◆ 19 ページの「Filr操作の理解」
- ◆ 26 ページの「Filr Desktopコンソールでの作業」
- ◆ 31 ページの「デスクトップアプリケーションのブランディングのカスタマイズ」
- ◆ 32 ページの「バルーン通知は表示されないことがある」

同期の理解

- ◆ 15 ページの「同期が実行されるタイミング」
- ◆ 15 ページの「同期されるフォルダ」
- ◆ 16 ページの「サポートされているアクション」
- ◆ 17 ページの「ファイルおよびフォルダを手動で同期する」
- ◆ 17 ページの「保留中の同期変更の表示」

同期が実行されるタイミング

Filr DesktopアプリケーションからFilrサーバへの同期は、ファイルが保存されて閉じられた時に即時で実行されます。FilrサーバからFilr Desktopアプリケーションへの同期は、Filr管理者が指定した間隔で実行されます。デフォルトは15分ごとです。サーバが使用不可になると、デスクトップクライアントは、接続が再確立されるまで1分ごとにサーバに接続しようとしてます。

スケジュール設定された同期まで待たずに、手動でファイルを同期することもできます。詳細については、17 ページの「ファイルおよびフォルダを手動で同期する」を参照してください。

同期されるフォルダ

次の場所に置かれているファイルは、ユーザのワークステーションと同期します。

マイファイル: Filrサイトのユーザの [マイファイル] エリアに置かれているファイルは、デフォルトでユーザのワークステーションに同期されます。ユーザのワークステーションで [マイファイル] フォルダ(C:\Users\username\Filr\My Files)にファイルを追加すると、次の同期でそこにあるファイルは自動的にFilrに同期されます。

自分が共有相手: Filrサイトの [自分が共有相手] エリアに置かれているファイルは、デフォルトでユーザのワークステーションに同期されます。編集権限または寄稿権限を持っている場合、 [自分が共有相手] エリアにあるファイルを編集することができ、編集内容はFilrに同期されます。ただ

し、ユーザのワークステーションのFiltr Desktopアプリケーションから [自分が共有相手] フォルダのルート(C:\Users\username\Filtr\Shared with Me/)にファイルを追加することはできません。この場所にファイルを追加しても、ファイルはFiltrに同期されません。他のユーザから共有を受けたフォルダに対して寄稿者権限を持っている場合は、そのフォルダにファイルを追加することができます。

ネットフォルダ: [ネットフォルダ]にあるファイルは、デフォルトではユーザのワークステーションに同期されません。

コーポレートファイルシステムにあるフォルダとファイルのことを、「ネットフォルダ」といいます。コーポレートファイルには、自分のホームディレクトリ上のファイル、マップされたドライブ上のファイル、またはリモートサーバ上のファイルが含まれます。Filtrを使用することで、それらのファイルがどこにあってもシームレスにアクセスできます。アクセスできるコーポレートファイルは、Filtr管理者によって定義されています。

C:\Users\username\Filtrフォルダのルートにあるファイルは同期できません。その代わりに、いずれかの適切なサブフォルダ(マイファイルまたはネットフォルダ)にファイルを追加してください。

サポートされているアクション

ユーザのファイルシステムにあるFiltrフォルダ内のフォルダおよびドキュメントに対して以下のいずれかのアクションを実行すると、次の同期のときに、そのアクションがユーザのコンピュータファイルシステムとFiltrサーバとの間で同期されます。

- ◆ ドキュメントおよびフォルダの作成
- ◆ ドキュメントおよびフォルダのコピー
- ◆ ドキュメントでのコメント
- ◆ ドキュメントおよびフォルダの削除

削除する権限を持っている場合、Filtr Desktopアプリケーションから削除するドキュメントおよびフォルダはサーバからも削除されます。ただし、[自分が共有相手] エリアにあるドキュメントを削除する場合は例外です。

自分が直接共有を受けたドキュメントまたはフォルダを [自分が共有相手] エリアから削除すると、Filtr Desktopアプリケーションには同期されなくなりますが、ドキュメントとフォルダはサーバに残ります。

自分が共有を受けたドキュメントや、共有を受けたフォルダのサブフォルダとなるフォルダを削除する場合、または削除対象のドキュメントが共有を受けたフォルダに格納されている場合、削除する十分な権限があればドキュメントまたはフォルダはサーバから削除されます。

- ◆ ドキュメント
- ◆ ドキュメントおよびフォルダの移動
- ◆ ドキュメントおよびフォルダの名前変更
- ◆ ドキュメントおよびフォルダの共有

ファイルおよびフォルダを手動で同期する

スケジュール設定された同期まで待たずに、Filtrとコンピュータとの間のファイルおよびフォルダの同期を手動で取ることができます。同期するファイルは事前に閉じられている必要があります。

すべてのファイルを手動で同期するには:

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックしてから、[今すぐ同期] をクリックします。

ファイルまたはフォルダを個別に手動で同期するには:

- 1 同期するファイルまたはフォルダに移動します。
- 2 該当するファイルまたはフォルダを右クリックして、[他のFiltrオプション] > [今すぐ同期] の順にクリックします。

保留中の同期変更の表示

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックしてから、[Filtrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 [保留中の変更] をクリックします。

Filtr Desktopアプリケーションでの作業

Filtr Desktopアプリケーションをインストールして、このアプリケーションにログインすると、Filtr Desktopアプリケーションが実行され、Filtrアイコン  が通知エリアに表示されます。 をクリックするとFiltrフォルダが開きます。このポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

- Filtrフォルダを開くには、 を右クリックしてから、[Filtrフォルダを開く] をクリックします。
- Filtrコンソールを起動するには、 を右クリックしてから、[Filtrコンソールを開く] をクリックします。
- ブラウザを使用してFiltrにアクセスするには、 を右クリックしてから、[Web上のFiltrにアクセス] をクリックします。
- すべてのファイルを手動で同期するには、 を右クリックしてから、[今すぐ同期] をクリックします。
- デスクトップアプリケーションからログアウトするには、 を右クリックしてから、[ログアウト] をクリックします。
- デスクトップアプリケーションにログインするには、 を右クリックしてから、[ログイン] をクリックします。
- Filtrのバージョンを表示するには、 を右クリックしてから、[社名 Filtrのバージョン情報] をクリックします。
- ヘルプファイルを表示するには、 を右クリックしてから、[ヘルプ] をクリックします。

注: を右クリック すると、[終了] オプションはリストに表示されなくなります。Filtr Desktopアプリケーションを終了するには、<Shift>キーを押して を右クリック します。その後、[終了] をクリックします。

Filtr Desktopコンソールの理解

Filtr Desktopコンソールには、以下のオプションがあります。

アカウント

- ユーザアカウント情報を変更できます。詳細については、[27 ページの「Filtrアカウント情報の変更」](#)を参照してください。
- ユーザのデータクォータを表示します。詳細については、「[27 ページの「データクォータの理解および表示」](#)」を参照してください。

全般

- コンピュータ始動時にFiltrを自動的に起動するかどうかを指定できます。

ストレージ

- Filrファイルを同期する場所を指定できます。デフォルトでは、FiltrファイルはユーザのファイルシステムのC:\Users\username\Filtrフォルダに同期されます。詳細については、「[18 ページの「ストレージ」](#)」を参照してください。
- ローカルにキャッシュされたファイルを、最後にアクセスまたは変更してからどれほどの期間保持するかを指定できます。詳細については、[28 ページの「キャッシュファイルの削除」](#)を参照してください。

Application (アプリケーション)

- Filrでは、システム管理者がアプリケーションドリブンダウンロードを制御し、Filtrの動作によってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐことができるようになりました。管理者が行った操作については、[アプリケーション] ページに要約されています。制限が設けられている場合は、許可されているかブロックされているアプリケーション、またはその両方のアプリケーションを表示するためのリンクがこのページに配置されます。詳細については、[29 ページの「アプリケーションドリブンダウンロードによってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐ」](#)を参照してください。

保留中の変更

- 正常に完了しなかった同期アクションに関する情報が表示されます。同期アクションを再試行するか、Filtrワークスペースへの変更を取り消すことができます。詳細については、[30 ページの「同期問題の理解と解決」](#)を参照してください。

最近のアクティビティ

- ◆ Filr Desktopアプリケーションで最近行われたアクティビティが表示されます。詳細については、[31 ページの「最近のアクティビティの表示」](#)を参照してください。

システムアラート

- ◆ 新しいソフトウェアアップデート、期限切れのパスワード、サーバダウンタイムなどさまざまなアラートが表示されます。詳細については、[31 ページの「システムアラートの表示」](#)を参照してください。

Filr操作の理解

次のセクションでは、Filrのさまざまな操作について説明します。

- ◆ [19 ページの「Filr操作の要約表」](#)
- ◆ [20 ページの「オフラインで使用できるようにする」](#)
- ◆ [20 ページの「オンラインでのみ使用できるようにする」](#)
- ◆ [20 ページの「キャッシュファイルを削除する」](#)
- ◆ [21 ページの「今すぐ同期」](#)
- ◆ [21 ページの「ローカル変更を取り消す」](#)
- ◆ [21 ページの「コンピュータからFilrファイルを表示する」](#)
- ◆ [21 ページの「オフラインのファイルおよびフォルダを手動で同期する」](#)
- ◆ [22 ページの「Filr Desktopからブラウザ内でFilrを起動する」](#)
- ◆ [22 ページの「ファイルへのコメントの追加およびコメントの表示」](#)
- ◆ [22 ページの「ファイルまたはフォルダの共有」](#)
- ◆ [25 ページの「ファイルへのリンクの配布」](#)
- ◆ [26 ページの「ファイルまたはフォルダのFilrプロパティの表示」](#)

Filr操作の要約表

操作	フォルダ	ファイル
コメント		•
ファイルリンクの取得		•
Filr情報の取得	•	•
オフラインで使用できるようにする	•	•
オンラインでのみ使用できるようにする	•	•
共有	*•	•
いまずぐ同期化	**•	**•

操作	フォルダ	ファイル
ローカル変更を取り消す	***.	***.

* ネットフォルダ内からフォルダを共有することはできません。

** オフラインのファイルおよびフォルダのみを同期できます。

*** オフラインファイルに行った変更がまだサーバと同期されていない場合にのみ、ローカルの変更を取り消すことができます。

オフラインで使用できるようにする

Filrは選択されたファイルまたは選択されたフォルダとその中身をローカルディスクにダウンロードします。

オフラインで使用可能なファイルおよびフォルダは周期的にFilrと同期されるので、Filrにログインしていないときでも、ローカルディスクにあるそれらのファイルにアクセスできます。

ファイルまたはフォルダをオフラインで使用できるようにするには:

- 1 該当するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 [他のFilrオプション] > [オフラインで使用できるようにする] をクリックします。

オンラインでのみ使用できるようにする

Filrはファイルまたはフォルダのコピーをローカルディスクから削除しますが、ファイルまたはフォルダはオンラインに保持されます。

注: ファイルとフォルダは個別にオンラインにすることができます。ただし、オフラインのフォルダ内にあるファイルを直接オンラインで使用可能にすることはできません。そのようなファイルをオンラインにするには、そのフォルダをオンラインにする必要があります。

ファイルまたはフォルダをオンラインでのみ使用できるようにするには:

- 1 該当するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 [他のFilrオプション] > [オンラインでのみ使用できるようにする] をクリックします。

キャッシュファイルを削除する

オンラインファイルが、まだオフラインで使用できるようになっていない場合、アプリケーションから、またはダブルクリックしてアクセスすると、そのファイルのコピーがローカルにキャッシュされます。ローカルにキャッシュされたファイルを、最後にアクセスしてからどれほどの期間保持するかを指定することができます。詳細については、[28 ページの「キャッシュファイルの削除」](#)を参照してください。

今すぐ同期

オフラインで利用可能な選択したファイルとフォルダをFiltrサーバに対して同期します

- ◆ 特定のオフラインのファイルまたはフォルダを同期するには、該当するファイルまたはフォルダを右クリックして、**[他のFiltrオプション]** > **[今すぐ同期]** をクリックします。
- ◆ すべてのオフラインのファイルおよびフォルダを同期するには、WindowsシステムトレイのFiltrアイコンを右クリックして、**[今すぐ同期]** をクリックします。

ローカル変更を取り消す

Filtrサーバに同期できないファイルまたはフォルダに対して行った変更を元に戻すには、以下の手順を行います。

- 1 該当するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 **[他のFiltrオプション]** > **[ローカル変更の取り消し]** をクリックします。

コンピュータからFiltrファイルを表示する

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  をクリックします。
または
通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックして、**[Filtrフォルダを開く]** をクリックします。

自分のファイルシステムから直接Filtrフォルダにアクセスできます。Filtrフォルダは通常、次の場所にあります。

c:\Users\username\Filtr

Filtrフォルダは、ユーザのお気に入りにもあります。

デフォルトの場所を変更する方法については、[18 ページの「ストレージ」](#)を参照してください。

ワークステーションとFiltrとのファイル同期について詳しくは、「[15 ページの「同期の理解」](#)」を参照してください。

オフラインのファイルおよびフォルダを手動で同期する

スケジュール設定された同期まで待たずに、Filtrとコンピュータとの間のファイルおよびフォルダの同期を手動で取ることができます。同期するファイルは事前に閉じられている必要があります。

すべてのファイルを手動で同期するには:

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックして、**[今すぐ同期]** をクリックします。

ファイルまたはフォルダを個別に手動で同期するには:

- 1 同期するファイルまたはフォルダに移動します。
- 2 該当するファイルまたはフォルダを右クリックしてから、**[他のFiltrオプション]** > **[今すぐ同期]** をクリックします。

Filr Desktopからブラウザ内でFilrを起動する

Filr Desktopアプリケーションを使用してブラウザ内でFilrを起動することができます。

- 1 通知エリアのFilrアイコン  を右クリックしてから、[Web上のFilrにアクセス] をクリックします。

ファイルへのコメントの追加およびコメントの表示

ファイルにコメントを追加したり、コメントを表示したりできるユーザは、Filr管理者からそれらの操作を許可されたユーザだけです。

- 1 コメントを追加する、またはコメントを表示するファイルに移動します。
- 2 該当するファイルを右クリックして、[コメント] をクリックします。
[Filrコメント] ダイアログボックスが表示され、ファイルに関連する既存のコメントを確認できます。
- 3 [コメント] フィールドにコメントを入力し、[送信] をクリックします。
または
既存のコメントに返信するには、返信するコメントの隣にある[返信] アイコン  をクリックしてから、[送信] をクリックします。

ファイルまたはフォルダの共有

Filrでは、さまざまな方法でほかの人がファイルとフォルダにアクセスできるようにすることが可能です。ファイルを共有する方法は、共有する情報の機密性や特定の個人との関連性など、さまざまな要因によって決まります。

- **個々のユーザおよびグループとの共有:** 共有によって、組織内の特定のユーザやグループまたは組織外の特定のユーザと、ファイルおよびフォルダを共有することができます。ファイルまたはフォルダを共有するときには、『[Filr 3.4: ユーザアクセスガイド](#)』の「[共有アクセス権の理解](#)」で定義されている共有アクセス権のいずれかを割り当てることもします。

特定のユーザやグループと共有することで、ファイルおよびフォルダに対するセキュリティレベルの強度を最大化することができます。ユーザは共有を受けた項目に関する通知を受け取り、その項目は[自分が共有相手] エリアに表示されます。

詳細については、『[Filr 3.4: ユーザアクセスガイド](#)』の「[ファイルおよびフォルダの共有](#)」を参照してください。

- **ファイルリンクの配布:** ファイルへのリンク(URL)を配布することができます。ファイルへのリンクを配布すると、リンクを持つすべてのユーザがファイルにアクセスできるようになります。ただし、ファイルは[パブリック] エリアに表示されないため、ユーザがファイルを見るにはリンクに直接アクセスしなければなりません。
ファイルリンクを配布する方法については、『[Filr 3.4: ユーザアクセスガイド](#)』の「[ファイルへのリンクの配布](#)」を参照してください。
- **パブリックとの共有:** 項目をパブリックと共有すると、FilrサイトへのURLを持つすべてのユーザが[パブリック] エリアでそのファイルを見ることができます。
ファイルおよびフォルダをパブリックと共有する方法については、『[Filr 3.4: ユーザアクセスガイド](#)』の「[ファイルおよびフォルダの共有](#)」を参照してください。

ファイルとフォルダはFiltr Desktopアプリケーションから直接共有できます。

- 1 共有するファイルまたはフォルダに移動します。
- 2 該当するファイルまたはフォルダを右クリックし、**[共有]** をクリックします。
[Filtr共有] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 **[ユーザ、グループ、電子メールを追加]** オプションに、共有相手のユーザ名またはグループ名を入力し始めて、ドロップダウンリストに名前が表示されたらクリックします。
または
共有相手となる外部ユーザの完全なメールアドレスを指定し、<Enter>キーを押します。
- 4 (オプション)共有相手のユーザを追加するには、**ステップ 3**を繰り返します。
- 5 (設定による)個々のユーザのアクセス設定の変更方法

5a [共有相手] セクションで、アクセス設定を変更するユーザを選択します。

5b 次のアクセス設定から変更するものを選択します。

アクセス権: ビューアアクセス権、編集者アクセス権、または寄稿者アクセス権を付与します。(寄稿者はフォルダのみに適用されます。)

有効期限: 共有の有効期限を指定します。

共有の有効期限は、指定した日数(1日は24時間で数え、有効期限を設定した時刻から数えます)、または特定の日付(権限の有効期限は、選択した日の開始時に切れます)のいずれかで設定できます。

内部ユーザ: 共有受信者に、項目を内部ユーザと再共有することを許可します。

外部ユーザ: 共有受信者に、項目を外部ユーザと再共有することを許可します。

すべてのパブリック: 共有受信者に、項目をパブリックと再共有することを許可します。

ファイルリンク: 共有受信者に、項目をファイルリンク経由で再共有することを許可します。

ファイルリンクの詳細については、[25 ページの「ファイルへのリンクの配布」](#)を参照してください。

メモ: 共有受信者に対する個人メモを含めます。共有受信者のみがメモを読むことができます。

6 (設定による)複数ユーザのアクセス設定を同時に変更するには、次の手順を実行します。

6a Ctrlキーを押しながら、**[共有相手]** セクションで、アクセス設定を変更するユーザを選択します。

6b 次のアクセス設定から変更するものを選択します。

定義しないアクセス設定は、所定のユーザの個々のアクセス設定が保持されます。定義するアクセス設定は、現在選択されている各ユーザのアクセス設定に反映されます。

アクセス権: 次のいずれかのアクセス役割をユーザまたはグループに付与します。

- ◆ **ビューア:** ユーザは以下のことを実行できます。
 - ◆ **共用フォルダ:** 表示
 - ◆ **共有サブフォルダ:** 表示
 - ◆ **フォルダおよびサブフォルダ内のファイル:** 表示および読み込み
- ◆ **編集者:** ユーザは以下のことを実行できます。
 - ◆ **共用フォルダ:** 表示
 - ◆ **共有サブフォルダ:** 表示

- ◆ **フォルダおよびサブフォルダ内のファイル:** 表示、読み込み、および書き込み
- ◆ **寄稿権限(マイファイル内のフォルダにのみ適用):** ユーザは以下のことを実行できます。
 - ◆ **共用フォルダ:** 表示、名前変更、削除、またはコピー

重要: 前述のように、自分のマイファイルエリアのフォルダの共有を受けた人も名前変更、コピー、および削除さえできるので、寄稿権限の共有アクセス権の付与は十分注意して行ってください。

- ◆ **共有サブフォルダ:** 表示、名前変更、削除、コピー、および移動
- ◆ **フォルダおよびサブフォルダ内のファイル:** 表示、名前変更、削除、コピー、移動、読み込み、および書き込み

有効期限: 共有が期限切れになる日付を設定します。デフォルトの共有の有効期限は30日に設定されます。

共有の有効期限は、指定した日数(1日は24時間で数え、有効期限を設定した時刻から数えます)、特定の日付(権限の有効期限は、選択した日の開始時に切れます)、または無期限のいずれかで設定できます。

内部ユーザ: 共有受信者に、項目を内部ユーザと再共有することを許可します。

外部ユーザ: 共有受信者に、項目を外部ユーザと再共有することを許可します。

すべてのパブリック: 共有受信者に、項目をパブリックと再共有することを許可します。

ファイルリンク: 共有受信者に、項目をファイルリンク経由で再共有することを許可します。

ファイルリンクの詳細については、[25 ページの「ファイルへのリンクの配布」](#)を参照してください。

メモ: 共有受信者に対する個人メモを含めます。共有受信者のみがメモを読むことができます。

- (オプション)[[パブリックにする](#) - (オプション) [通知] セクションで、ドロップダウンリストをクリックして、次の通知オプションから選択します。
 - なし:** 通知を送信しません。
 - すべての受信者:** 共用者リスト内のすべての受信者に通知します。
 - 新規に追加された受信者のみ:** 共用者リストに追加された受信者にのみ通知します。
 - 新規および変更された受信者:** 新規受信者および共有権限を変更している受信者にのみ通知します。
- (オプション) [[アクセスレポートを共有](#)] をクリックして、共有相手の共有アクセスの詳細を表示します。

アクセスレポートには次の情報が表示されます。

 - ◆ **ユーザ:** 共有にアクセスしたユーザの名前
 - ◆ **IPアドレス:** 共有へのアクセスに使用したデバイスのIPアドレス
 - ◆ **最初のアクセス時間:** 共有が最初にアクセスされた日付、時刻、およびタイムゾーン。共有が再びアクセスされても、情報を受け取ることはありません。

- ◆ **グループ:** ユーザがグループと共有している場合は、ユーザが所属しているグループの名前が表示されます。

共有が共有相手によってアクセスされると、共有元は電子メール通知とアクセス詳細を受信します。次の条件が満たされていると、共有ごとにレポートが生成されます。

- ◆ ユーザがFiltr 3.4 Advanced Editionライセンスを持っている
- ◆ ファイルまたはフォルダがFiltr 3.4以降と共有される

10 [保存] をクリックします。

ファイルへのリンクの配布

ファイルへのリンク(URL)を配布することができます。ファイルへのリンクを配布すると、リンクを持つすべてのユーザがファイルにアクセスできるようになります。ただし、ファイルは[パブリック] エリアに表示されないため、ユーザがファイルにアクセスするにはリンクに直接アクセスしなければなりません。

- 1 リンクを配布するファイルまたはフォルダに移動します。
- 2 ファイルまたはフォルダを右クリックし、[ファイルリンクを取得] をクリックします。

[ファイルリンク] ダイアログボックスが表示されます。

そのファイルのファイルリンクがまだ生成されていない場合、[ファイルリンクを取得] をクリックします。

ファイルにアクセスするための次のURLが作成されます。

ダウンロードファイルリンク: ブラウザ設定に応じて、ファイルをダウンロードするか開くよう求めるプロンプトがユーザに出されます。あるいは、ファイルがブラウザに自動的に表示されます。このリンクからユーザは直接ファイルにアクセスできます。

表示ファイルリンク: このリンクは、ファイルをWebブラウザのHTMLビューで表示します。Webブラウザで表示できないファイルタイプの場合、このリンクは使用できません。

これでファイルリンクが[共有] ダイアログに表示されます。リンクに関連付けられている有効期限やメモを変更できます。または、[22 ページの「ファイルまたはフォルダの共有」](#)で説明されているように、[共有] ダイアログにアクセスして、リンクを持つユーザがファイルにアクセスできなくなるようにリンクを削除することもできます。

- 3 (オプション) [有効期限] の隣にあるドロップダウン矢印をクリックして、共有の有効期限が切れる日付を設定します。

共有の有効期限は、指定した日数(1日は24時間で数え、有効期限を設定した時刻から数えます)、または特定の日付(権限の有効期限は、選択した日の開始時に切れます)のいずれかで設定できます。

- 4 ファイルリンクの配布に関して以下のアクションから選択してください。

- ◆ **コピー:** コピーするダウンロードリンクか表示リンクを選択できるようにし、クリップボードにリンクをコピーします。その後、リンクを別のアプリケーションに貼り付けることができます。
- ◆ **電子メール:** ワークステーションのデフォルト電子メールアプリケーションを使用して、リンクを電子メールで送信します。ダウンロードリンクと表示リンクのどちらも電子メールに含まれます。
- ◆ **Filtr電子メール:** Filtrの組み込み電子メールシステムを使用して、リンクを電子メールで送信します。ダウンロードリンクと表示リンクのどちらも電子メールに含まれます。

- ◆ **削除:** ユーザが現在のリンクを使用してファイルにアクセスできないようにするために、ファイルリンクを削除します。
- 5 (オプション)ファイルリンクを作成した後、[22 ページの「ファイルまたはフォルダの共有」](#)の説明にしたがって、[共有] ダイアログにアクセスし、ファイルリンクのユーザアクセス権を変更したり他の管理機能を実行したりすることができます。

ファイルまたはフォルダのFiltrプロパティの表示

ファイルとフォルダに関連する次のFiltrプロパティを表示します。

- ◆ ファイル名
- ◆ ファイルパス(Filtrシステムのファイルまたはフォルダへのパスを示しています)
- ◆ ファイルサイズ(該当するのはファイルのみで、フォルダは該当しません)
- ◆ ファイルまたはフォルダを作成したユーザ
- ◆ ファイルまたはフォルダを作成した日
- ◆ ファイルまたはフォルダを変更した日
- ◆ ファイル共有元のユーザ
- ◆ ファイル共有先のユーザ

ファイルまたはフォルダのFiltrプロパティを表示するには:

- 1 Filtrプロパティを表示するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 [プロパティ] をクリックして、ネイティブの [Windowsプロパティ] ダイアログを起動します。
- 3 [Micro Focus Filtr] タブをクリックします。
ファイルまたはフォルダのFiltrプロパティが表示されます。
- 4 (オプション)ファイルまたはフォルダを共有する権限がある場合、[共有] をクリックして、[Filtr共有] ダイアログボックスを起動できます。

Filtr Desktopコンソールでの作業

Filtr Desktopコンソールでの作業については、次のセクションを参照してください。

- ◆ [27 ページの「Filtrアカウント情報の変更」](#)
- ◆ [27 ページの「データクォータの理解および表示」](#)
- ◆ [28 ページの「ファイルシステム上のFiltrファイル同期場所の変更」](#)
- ◆ [28 ページの「キャッシュファイルの削除」](#)
- ◆ [29 ページの「アプリケーションドリブンダウンロードによってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐ」](#)
- ◆ [30 ページの「同期問題の理解と解決」](#)
- ◆ [31 ページの「最近のアクティビティの表示」](#)
- ◆ [31 ページの「システムアラートの表示」](#)

Filrアカウント情報の変更

Filr Desktopアプリケーションの初期設定時に、アカウント情報とFilrサーバ情報を指定します。初期設定の後、情報はいつでも変更できます。

- 1 通知エリアのFilrアイコン  を右クリックしてから、[Filrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 デスクトップコンソールで、[アカウント] をクリックします。
- 3 次の情報を指定します。
 - ユーザ名: Filrサイトにログインするときに使用するFilrユーザ名を指定します。
 - パスワード: Filrサイトにログインするときに使用するFilrパスワードを指定します。
 - パスワードを記憶する: Filr Desktopアプリケーションにパスワードを記憶させる場合は、このオプションを選択します。(このオプションは、Filr管理者によって無効に設定されている場合があります。)
 - サーバURL: ファイルをコンピュータに同期するFilrサイトのURLを指定します。例: `https://Filr.mycompany.com`とします。
- 4 [適用] をクリックします。

データクォータの理解および表示

Filrサイトに保管するデータの量を制限するために、Filr管理者はデータクォータを有効にすることがあります。

Filrサイトでデータクォータが有効な場合、何がデータクォータにカウントされるのか、データクォータにはどんな種類があるのか、現在のデータ使用量を表示するにはどうすればよいかを理解し、割り当てられたデータクォータに近づいている時が分かるようにしてください。割り当てられたクォータに達すると、以前に削除したファイルおよび添付ファイルがパージできるようになります。

データクォータの理解

データクォータは、個々のユーザがFilrサイトに追加できるデータの量を制限します。[ネットフォルダ] (ユーザのホームディレクトリを含む)にあるファイルは、データクォータにカウントされません。

データクォータの表示

データクォータは、ユーザのFilrサイトで使用されている場合もあれば、使用されていない場合もあります。このセクションに説明されている方法で自分のデータクォータを表示できない場合は、Filr管理者がFilrサイトに追加できるデータの量をまだ制限していないということです。

自分のデータクォータは、デスクトップアプリケーションから直接表示できます。

- 1 通知エリアのFilrアイコン  を右クリックしてから、[Filrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 デスクトップコンソールで、[アカウント] をクリックします。
 - ユーザのデータクォータが、現在使用済みの量と共に表示されます。最大ファイルサイズも表示されますが、これはFilrサイトにアップロード可能なファイルの最大サイズです。

詳細については、『[Filtr 3.4: ユーザアクセスガイド](#)』の「[「データクォータの管理」](#)」を参照してください。

ファイルシステム上のFiltrファイル同期場所の変更

デフォルトでは、Filtrファイルはユーザのファイルシステムのc:\Users\username\Filtrフォルダに同期されます。

Filtr Desktopアプリケーションの初期設定時に、ファイルシステム上のインストール場所を指定できます。Filtrフォルダの場所は、初期設定後いつでも変更できます。

重要: 複数のコンピュータからアクセスできるネットワーク上の場所へは、ファイルを同期しないでください。Filtrフォルダが複数のコンピュータからのアクセスが可能なネットワーク上の場所にある場合、いずれかのコンピュータからアクセスされたFiltrファイルがコンピュータ間およびFiltrサーバと同期が取れなくなる同期問題が発生するおそれがあります。

Filtrフォルダの場所を変更するには:

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックしてから、[Filtrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 デスクトップコンソールで、[ストレージ] をクリックしてから、[ブラウズ] をクリックして、ファイルシステム上でFiltrフォルダを置く新しい場所をブラウズします。
- 3 [OK] > [適用] の順にクリックします。
- 4 コンピュータからログアウトしてログインし直し、変更を有効にします。

キャッシュファイルの削除

オンラインファイルが、まだオフラインで使用できるようになっていない場合、アプリケーションから、またはダブルクリックしてアクセスすると、そのファイルのコピーがローカルにキャッシュされます。

Desktopコンソールの [ストレージ] タブに、ローカルにキャッシュされたファイルがアクセスまたは変更されなくなった後にデスクトップに保持される日数としてFiltr管理者が設定したデフォルトの日数が示されています。

ローカルにキャッシュされたファイルがアクセスまたは変更されなくなった後にデスクトップに保持される日数を自分で変更できるのは、Filtr管理者から変更を許可されたユーザのみです。キャッシュされたファイルの有効期間を変更するには、次のように操作します。

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックしてから、[Filtrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 デスクトップコンソールで、[ストレージ] をクリックします。
- 3 (オプション)キャッシュされたファイルの有効期間の変更をFiltr管理者から許可されたユーザである場合は、[次の時点以降にキャッシュされたファイルを削除] オプションを選択し、変更後の日数を指定します。

アプリケーションドリブンダウンロードによってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐ

Filrでは、システム管理者がアプリケーションドリブンダウンロードを制御し、Filrの動作によってローカルディスクがいっぱいになることを防ぐことができますようになりました。詳細については、『[Filr 3.4: Maintenance Best Practices Guide \(Filr 3.4: 保守のベストプラクティスガイド\)](#)』の「[Controlling File Downloads by the Filr Desktop Applications \(Filr Desktopアプリケーションでファイルのダウンロードを管理\)](#)」を参照してください。

自分のワークステーションに適用されているアプリケーションドリブンダウンロードの制限を確認するには、以下の手順を行います。

- 1 通知エリアのFilrアイコン  を右クリックしてから、[Filrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 [アプリケーション] をクリックしてから、[View applications] をクリックします。

Filr管理者が適用したオプションに基づいて、以下のいずれかが該当します。

- ◆ **制限なし:** すべてのアプリケーションはFilr経由でファイルをダウンロードすることが許可されます。
- ◆ **許可されているアプリケーション:** Filr管理者がFilr経由でファイルをダウンロードすることを許可したアプリケーションがリストされます。

許可されていないアプリケーションがファイルをダウンロードしようとする、そのアプリケーションではファイルのダウンロードをブロックされていることがユーザに通知され、メッセージが[システムアラート] タブに表示されます。ユーザはこのアラートを破棄することを選択できます。あるアプリケーションのアラートがすでに[システムアラート] タブにあるときに、そのアプリケーションがファイルのダウンロードを再び試行した場合、通知は何も表示されません。

特定のアプリケーションのアラートが再び表示されないようにするには、[アプリケーション名を再び表示しない] オプションを選択します。

別のアプリケーションがFilr経由でファイルをダウンロードすることを許可されるべきであると思われる場合は、Filr管理者に連絡してください。

- ◆ **ブロックされているアプリケーション:** Filr経由でのファイルのダウンロードがブロックされているアプリケーションがリストされます。

ブロックされているアプリケーションが実行されると、システム管理者がそのアプリケーションによるファイルのダウンロードをブロックしていることがユーザに通知されます。ユーザはこのアラートを破棄することを選択できます。あるアプリケーションのアラートがすでに[システムアラート] タブにあるときに、そのアプリケーションが実行を再び試行した場合、通知は何も表示されません。

特定のアプリケーションのアラートが再び表示されないようにするには、[アプリケーション名を再び表示しない] オプションを選択します。

- ◆ **許可されているアプリケーションとブロックされているアプリケーション:** Filr管理者がファイルをダウンロードすることを許可したアプリケーションとブロックしたアプリケーションがすべてリストされます。

[アプリケーション] タブにも、ローカルの[許可されている] および[ブロックされている] リストが表示され、このリストを使用してFilr管理者が許可もブロックもしていない未識別のアプリケーションを管理することができます。未識別のアプリケーションがFilr経由でファイルのダウンロードを試行すると、そのアプリケーションはユーザが制御できるローカルの[ブロックされているリスト] に追加され、通知が表示されます。警告メッセージは[システムアラート] タブにも表示され、アプリケーションがダウンロード

することを許可するオプションと一緒に表示されます。[許可] をクリックすると、そのアプリケーションは [アプリケーション] タブ内でローカルの [ブロックされている] リストからローカルの [許可されている] リストに移動します。

右(>>)および左(<<)ボタンを使用して、ローカルの [許可されている] リストと [ブロックされている] リストの間でアプリケーションを移動することもできます。

同期問題の理解と解決

ほとんどの同期問題は、Filtrコンソールの [保留中のアクション] セクションから解決できます。さらに調査が必要な問題は、デスクトップログを確認します。

- ◆ 30 ページの「保留中のアクションの理解」
- ◆ 30 ページの「ドキュメントの競合について」

保留中のアクションの理解

次のいずれかのアイコンで表わされる同期問題が発生することがあります。

 : アップロードのエラーがあります。

 : アップロードの警告があります。

 : ダウンロードのエラーがあります。

 : ダウンロードの警告があります。

 : アップロードとダウンロードのエラーがあります。

 : アップロードとダウンロードの警告があります。

 : クライアントはまだファイルのアップロードまたはダウンロードを試行していません。

ドキュメントがダウンロードまたはアップロードされていない理由が分からない場合は、[31 ページの「最近のアクティビティの表示」](#)に説明されている方法で、最近のアクティビティを表示してください。

ドキュメントの競合について

あるドキュメントが同時に複数の場所で編集されている場合、最初に保存して閉じたファイルのみが元のファイル名で保存され、Filtrにアップロードされます。そのファイルの他のバージョンは、別の名前で保存されて、Filtrにアップロードされます。ファイルのコメントや共有情報がある場合、その情報は元のファイルにのみ保持されます。

たとえば、ユーザAとユーザBが同じ時刻に異なるワークステーションでfile1.docの編集を開始したとします。ユーザAは自分の変更内容を保存してファイルを閉じます。ファイルは元の名前(file1.doc)でユーザAの変更内容が適用されてFiltrに保存されます。その後、ユーザBが自分の変更内容を保存してファイルを閉じます。ユーザBのファイルはfile1 (ユーザBの競合コピー 日付).docに名前が変更されて、Filtrにアップロードされます。その後、ユーザBのデスクトップがユーザAのバージョンのfile1.docをダウンロードすると、ユーザBに自分のファイルの名前が変更されていることが通知されます。

重要: 名前変更されたファイルは、そのファイルを作成したユーザがそのファイルがあったフォルダに対する寄稿者権限を持つ場合にのみアップロードできます。たとえば、あるファイルをユーザBと共有しており、ユーザBがそのファイルに対する編集者権限しか持っていない(寄稿者権限を持っていない)場合、ファイルが名前変更された後、そのファイルをFiltrにアップロードすることはできません。

最近のアクティビティの表示

Filtr Desktopアプリケーションで最近行われたアクティビティを表示できます。たとえば、Filtrフォルダが同期された日時、変更されたファイル、および発生した同期の問題に関する情報が表示されます。

最近のアクティビティを表示するには:

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックしてから、[Filtrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 [最近のアクティビティ] をクリックします。

システムアラートの表示

Filtr Desktopアプリケーションでは、新しいソフトウェアのアップデート、期限切れパスワード、サーバダウンタイムなど、さまざまなアラートをユーザに知らせる必要が生じることがあります。

システムアラートが発生すると、この情報アイコン  がFiltrアイコン  上で点滅します。

システムアラートを表示するには:

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックしてから、[Filtrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 [システムアラート] をクリックします。

デスクトップアプリケーションのブランディングのカスタマイズ

Filtr管理者は、デスクトップアプリケーションのルックアンドフィールを企業イメージに合わせて変更できるようになりました。ブランディングの変更は、いったんログアウトしてからデスクトップアプリケーションに再度ログインした時点でデスクトップに反映されます。デスクトップアプリケーションに再度ログインすると、Filtr管理者がユーザインタフェースをカスタマイズしたというメッセージが表示されます。[OK] をクリックすると、カスタマイズしたデスクトップアプリケーションが自動的に再起動されます。

バルーン通知は表示されないことがある

デフォルトでは、特定のイベントが発生した場合に、Filrによってデスクトップにバルーン通知が表示されます。たとえば、Filrアプリケーションが起動したとき、ファイルまたはフォルダが共有されたとき、ファイルまたはフォルダがオンラインまたはオフラインになったとき、ブラックリストにあるアプリケーションが開かれたとき、デスクトップクライアントのアップグレードが使用可能になったときなどです。

しかし、Filr 3.1以降では、ユーザのデスクトップでのバルーン通知を、Filr管理者が有効または無効に設定できます。

Filr管理者がバルーン通知を無効にした場合、ユーザは、Filr Desktopコンソールを使って通知に関する次の情報を表示し、適切なアクションをとることができます。

- ◆ **最近のアクティビティ:** ファイルまたはフォルダの操作など、デスクトップアプリケーションでの最近の操作を表示できます。
- ◆ **システムアラート:** 新しいソフトウェアアップデート、期限切れのパスワード、サーバダウンタイムなど、さまざまなアラートが表示されます。

5 トラブルシューティング

以下のセクションでは、Filtr Desktopアプリケーションを使用中に起きる可能性のあるシナリオに関するトラブルシューティング情報を提供します。

- ◆ 33 ページの「同期していないファイル」
- ◆ 33 ページの「ログファイル」
- ◆ 33 ページの「アップグレードに関する問題」
- ◆ 34 ページの「一般的な問題」

同期していないファイル

Filtrコンソールの[保留中の変更]ビューには、正常に完了しなかった同期アクションに関する有用な情報が含まれることがあります。

- 1 通知エリアのFiltrアイコン  を右クリックしてから、[Filtrコンソールを開く] をクリックします。
- 2 [保留中の変更] ビューから、同期アクションを再試行するか、Filtrワークスペースへの変更を取り消すことができます。

右クリックメニューを使用して、サーバと同期できなかった変更を取り消すこともできます。

- 1 該当するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 [他のFiltrオプション] > [ローカル変更の取り消し] をクリックします。

ログファイル

ログファイルはC:\Users\username\AppData\Local\Novell\Filtrにあります。

AppDataフォルダはデフォルトでは非表示です。このフォルダにアクセスするには、Windowsエクスプローラーのアドレスバーに次のように入力します。

```
%LOCALAPPDATA%\Novell\Filtr
```

アップグレードに関する問題

Windowsのデスクトップアプリケーションをアップグレードするときに発生した問題のトラブルシューティングを行うには、次の点を確認してください。

- ◆ 34 ページの「デスクトップアプリケーションをアップグレードした後、Windowsのデスクトップアプリケーションに古いバージョンのアイコンが表示される」
- ◆ 34 ページの「デスクトップアプリケーションをアップグレードするときにWindowsのデスクトップがハングすることがある」

デスクトップアプリケーションをアップグレードした後、Windowsのデスクトップアプリケーションに古いバージョンのアイコンが表示される

WindowsデスクトップでFiltr Desktopアプリケーションをアップグレードした場合、[お気に入り]に表示されるFiltrアイコンが新しいMicro Focus Filtrアイコンにアップデートされないことがあります。

解決策: 次の手順を実行します。

1. ファイル%localappdata%\IconCache.dbを削除します。
デフォルトでは、IconCache.dbファイルは非表示です。
2. Windowsのエクスプローラを再起動します。

デスクトップアプリケーションをアップグレードするときにWindowsのデスクトップがハングすることがある

WindowsのデスクトップでFiltr Desktopアプリケーションをアップグレードするときに、クライアントのインストーラがハングすることがあります。

解決策: 次の手順を実行します。

1. クライアントのインストールプロセスを手動で終了させます。
 - a. Windowsのタスクマネージャを起動します。
 - b. msisexec.exe*32プロセスを右クリックし、[プロセスツリーの終了]をクリックします。
2. コンピュータを再起動します。
3. もう一度アップグレードプロセスを起動し、システムのプロンプトに従ってアップグレードを完了します。

一般的な問題

エクスプローラで大きいサイズのファイルを移動するとエラーが表示される

大きいサイズのファイルをFiltrフォルダからFiltrフォルダの外に移動すると、エクスプローラでエラーが表示されます。エラーを無視して[キャンセル]をクリックできます。ファイルは正常に移動されます。

ファイルをFiltrフォルダの外に移動する前に、ファイルをオフラインにすることをお勧めします。